

Galaxy VS

バッテリーブレーカーボックス

設置

2018年10月



法律情報

このガイドで言及されている **Schneider Electric** ブランドおよび **Schneider Electric Industries SAS** の登録商標は、**Schneider Electric SA** およびその子会社の独占所有物です。これらは所有者の書面による許可がない限り、いかなる目的にも使用できません。このガイドおよびその内容は、フランスの知的所有権法に関する法典 (**Code de la propriété intellectuelle français**、以下「法典」と称する) の意図する範囲内で、文章、図面、モデルを対象とする著作権法、および商標法によって保護されています。ユーザーは、**Schneider Electric** の書面による許可なく、法典で定義されている個人使用および非商用使用以外の目的で、いかなる媒体で提供されるこのガイドのすべて、または一部も複製しないことに合意するものとします。ユーザーは、このガイドまたは内容に対してハイパーリンクを作成しないことにも合意するものとします。**Schneider Electric** は、ユーザーの責任で「現状のまま」のガイドを参照するための非独占ライセンスを除き、ガイドまたはその内容を個人または非商用で使用するためのいかなる権利またはライセンスも許諾しません。その他著作権も所有しており、無断複写、転載を禁じます。

電気機器は有資格者のみが設置、操作、修理、保守するものとします。この資料を使用することに起因するいかなる結果についても、**Schneider Electric** は責任を負わないものとします。

規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください。



次にアクセスしてください

https://www.productinfo.schneider-electric.com/portals/ui/galaxyvs_iec/

または、上のQRコードをスキャンしてください。デジタルエクスペリエンスおよび翻訳済みのマニュアルをご覧ください。

目次

安全上重要な注意事項— このマニュアルは必ず保管してください	5
電磁適合性	6
安全性に関する注意	6
電氣的安全性	8
バッテリーの安全性	9
仕様	10
バッテリーブレーカー仕様	10
トリップ設定	11
推奨ケーブルサイズ	12
トルク仕様	12
バッテリーブレーカーボックスの重量と寸法	13
環境	13
付属設置キットの概要	14
設置手順	15
バッテリーブレーカーボックスの壁面取り付け	16
ケーブル用のバッテリーブレーカーボックスの準備	18
信号ケーブルの接続	20
電源ケーブルの接続	23
翻訳済み安全ラベルの製品への追加	26
最終的な設置手順	27

安全上重要な注意事項— このマニュアルは必ず保管してください

ここに記載されている指示を注意深く読み、装置の設置、操作、整備、保守を行う前に装置についてよく理解してください。以下の安全に関するメッセージは、危険の可能性を警告するため、または手順を明確または簡潔にする情報への注意を喚起するために、このマニュアルまたは装置を通じて随所に記載されています。



「危険」または「警告」の安全に関するメッセージに対する記号の説明は、指示に従わないと人体への危害を引き起こす電氣的な危険性があることを示しています。



これは安全警報の記号です。人体への危害の危険性があることを警報するために使用されます。人体への危害や死亡の可能性を避けるため、この記号が付いた安全に関するメッセージすべてに従ってください。

⚠ 危険

「危険」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになる危険な状況を示します。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 警告

「警告」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示します。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負う、または機器を破損する可能性があります。

▲ 注意

「注意」は、指示に従わないと、軽傷を負う可能性がある危険な状況を示します。

これらの指示に従わない場合は、負傷する、または機器を破損する可能性があります。

注記

「注記」は、人体への危害に関連しない実務に対応するために使用されます。安全警報の記号は、このタイプの安全に関するメッセージには使用しないものとします。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

ご注意ください

電気機器は有資格者のみが設置、操作、修理、保守するものとします。この資料を使用すること起因するいかなる結果についても、Schneider Electricは責任を負わないものとします。

有資格者とは、電気機器の構造、設置、操作に関するスキルと知識を持ち、危険を認識して回避するための訓練を受けた者です。

電磁適合性

注記

電磁波障害のおそれ

本製品は、カテゴリC2に属するUPS製品です。居住環境では本製品により無線干渉が発生する可能性があり、そのような場合にはユーザーによる追加措置が必要とされることがあります。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

安全性に関する注意

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

設置マニュアルの指示をすべて読んでから、この製品の設置や作業を開始してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、この製品を設置しないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、Schneider Electric社の仕様と要件に従って設置する必要があります。特に、外部および内部の保護（上流ブレーカー、バッテリーブレーカー、ケーブル配線など）と環境要件は重要です。これらの要件に従わなかった場合、Schneider Electric社は責任を負わないものとします。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

UPSシステムは地方自治体および国家における規則に従って設置される必要があります。UPSは、以下の規格に従って設置してください。

- IEC 60364 (60364-4-41 - 感電に対する保護、60364-4-42 - 熱効果に対する保護、60364-4-43 - 過電流に対する保護を含む)、または
- NEC NFPA 70、または
- カナダの電気規則 (C22.1、パート1)

使用地域で適用される規格に従ってください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- この製品は、導電性汚染物質や湿気のない、温度管理された屋内環境に設置してください。
- この製品は、システムの重量を支えられる、不燃性の平坦で硬い床面（例、コンクリート面）に設置する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、設計上、次のような影響物が存在する動作環境に設置することはできません。

- 有害な煙
- 爆発の危険があるガス、粉体混合物、腐食性ガス、他の熱源からの伝導熱や輻射熱
- 水分、磨耗性塵埃、蒸気、または過度な湿度
- 菌類、昆虫類、有害生物
- 塩分を含んだ空気または汚染された冷却材
- IEC 60664-1が規定するレベル2を超える汚染物
- 異常振動、衝撃、傾斜
- 直射日光、熱源、強力な電磁場

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線口カバーに、ドリルまたは切削によりケーブルや電線管用の穴を開けないでください。また、このUPS装置の近くで穴開けまたは切断作業を行わないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 警告

アークフラッシュの危険

設置マニュアルで指示されていない限り、この製品に機械的変更（キャビネット部品の取り外し、ドリルや切削による穴開けなど）を加えないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負う、または機器を破損する可能性があります。

注記

過熱の危険

この製品周囲のスペースの要件を順守し、製品の動作中に製品の換気口をふさがないでください。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

電氣的安全性

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 電気機器の据え付け、運転、点検、保守は、有資格者のみで実施する必要があります。
- 適切な人体保護具 (PPE) を使用し、電気取り扱い上安全を守って作業してください。
- このUPSシステムに対する作業は、内部、外部の別を問わず、このUPS装置のあらゆる電源をオフにしてから実施してください。
- このUPSシステムの作業を始める前に、保護アースも含め、あらゆる端子間で危険な電圧がかかっていることを確認してください。
- UPSには、蓄電池が内蔵されています。主電源が断たれた状態でも、危険な電圧が存在する可能性があります。このUPSシステムを据え付けまたは点検する前に、必ず装置電源をオフにするとともに、主電源とバッテリーの接続を解除してください。このUPS装置内部を開く場合は、コンデンサーの放電が終わるまで5分程度待ってから開いてください。
- UPSは適切にアース処理 / 接地されていなければなりません。また、高い漏れ電流のため、アース処理 / 接地導体を最初に接続する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バックフィード保護が標準設計となっていないシステムの場合、絶縁装置の入力端子での危険電圧やエネルギーを防ぐために、自動絶縁装置 (バックフィード保護オプション、もしくはIEC/EN 62040-1またはUL1778 5th Editionの二つの規格のうち使用地域で適用されるいずれかの規格要件を満たしている他の装置) を設置する必要があります。上流停電後15秒以内に装置を開路する必要があります、その定格は仕様に準拠している必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

UPSの入力電源が外部断路装置を通じて接続されているときで、開放により中性線断となる場合、もしくは自動のバックフィード防止装置が機器外部に設置されているときもしくはIT配電システムに接続されているときは、UPS入力端子およびUPSから隔離しているすべての一次電源断路装置およびそれら断路装置とUPS間の外部アクセスポイントに、次のテキスト (またはUPSシステムが設置されている国の言語で同等に記載されたテキスト) を表示するラベルをユーザーが貼り付ける必要があります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

電圧バックフィードの恐れがあります。この回路で作業する前にUPSを絶縁し、保護アースを含むすべての端子間の危険電圧を確認してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

バッテリーの安全性

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- バッテリーサーキットブレーカーは、Schneider Electric社が定義した仕様と要件に従って設置する必要があります。
- バッテリー点検は、バッテリーや必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外に行わないでください。資格を持っていない人をバッテリーに近づけないようにしてください。
- バッテリー端子を接続したり取り外したりする前に、充電源の接続を解除してください。
- 爆発の危険があるため、バッテリーを焼却処分しないでください。
- バッテリーを解体または改造したり、本来とは異なる方法で使用したりしないでください。漏れ出した電解液は肌や目に害を与えるため、注意してください。毒性を持っている場合もあります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの高危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると感電する危険性があります。設置や保守の間、接地を外しておけば、感電の危険性を減らすことができます（接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します）。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリー交換時は、必ず同タイプかつ同数のバッテリーまたはバッテリーパックを使用してください。お使いのシステムのバッテリーについては、クラシックバッテリーキャビネットのラベルを参照してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 注意

機器損傷の危険

- システムが通電可能な状態になってから、バッテリーをシステムに搭載してください。バッテリー搭載から72時間（3日間）以上経過する前に、UPSシステムの電源を入れる必要があります。
- 充電要件により、バッテリーの保管期間は6カ月以内とする必要があります。このUPSシステムを長期間通電せずに保管する場合、1カ月に1度以上の頻度で24時間通電することをお勧めします。この措置でバッテリーが充電され、修理不能な損傷を防ぐことができます。

これらの指示に従わない場合は、負傷する、または機器を破損する可能性があります。

仕様

注記

機器損傷の危険性

UPSシステムの仕様の詳細については、UPS設置マニュアルを参照してください。
これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

バッテリーブレーカー仕様

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

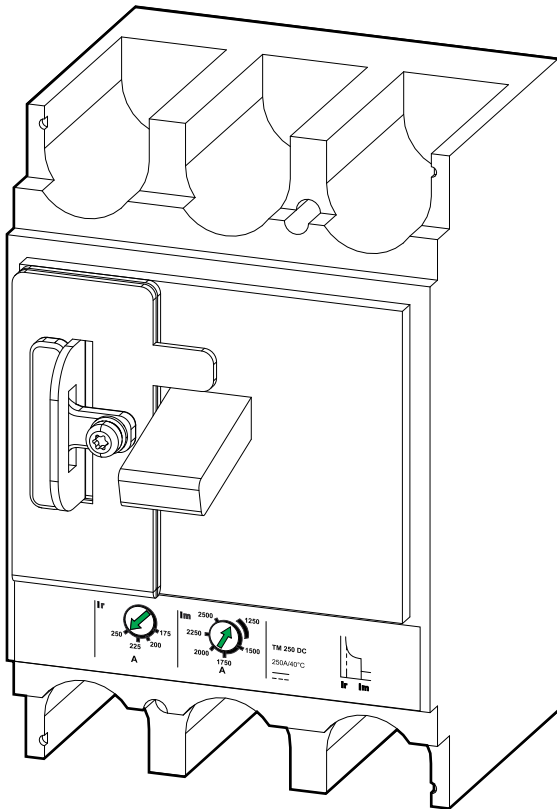
この製品はGalaxy VS UPSとともに使用する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

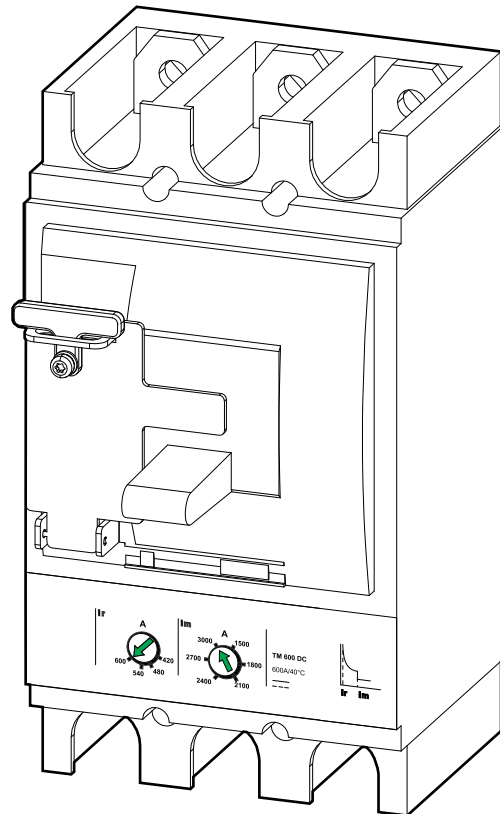
ブレーカーの定格	20 ~ 80 kW	100 ~ 200 kW
バッテリーブレーカー	LV438980 (LV438218、LV438245)	LV438279
最大設定	4時間のランタイム	200 kW : 1時間のランタイム 100 ~ 150 kW : 4時間のランタイム
バッテリータイプ	鉛酸、VRLA、リチウムイオン	鉛酸、VRLA、リチウムイオン
最大バッテリー短絡容量 (kA)	35	35
サーキットブレーカーをトリップする最小短絡遮断容量 (A)	1250	1600

トリップ設定

20 ~ 80 kWのバッテリーブレーカーのトリップ設定



100 ~ 200 kWのバッテリーブレーカーのトリップ設定



UPS 定格	20 ~ 60 kW	80 kW	100 ~ 150 kW	200 kW
Ir (A)	175	225	420	600
Im (A)	1250	1250	1500	1500

推奨ケーブルサイズ

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

注: 過電流保護は、他メーカーのものを使用してください。

このマニュアルに記載されているケーブルサイズは、IEC 60364-5-52の表B.52.5の以下の表記内容に基づいています。

- 導体温度90 °C
- 周囲温度30 °C
- 銅導体またはアルミニウム導体を使用
- 設置方法C

周囲温度が30°Cを超える場合、IECで明記されている補正係数に従ってより大きな導体を選択する必要があります。

銅	20 ~ 60 kW	80 kW	100 ~ 150 kW	200 kW
バッテリー +/- (mm ²)	50	70	2 x 70	2 x 120
バッテリーPE (mm ²)	25	35	70	120

アルミニウム	20 ~ 60 kW	80 kW	100 ~ 150 kW	200 kW
バッテリー +/- (mm ²)	70	該当なし	2 x 120	該当なし
バッテリーPE (mm ²)	35	該当なし	120	該当なし

トルク仕様

ボルトサイズ	トルク
M4	1.7 Nm (1.25 lb-ft)
M6	5 Nm (3.69 lb-ft)
M8	17.5 Nm (12.91 lb-ft)
M10	30 Nm (22 lb-ft)

バッテリーブレーカーボックスの重量と寸法

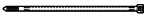
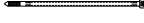
	重量 (kg)	高さ (mm)	幅 (mm)	奥行き (mm)
10～80 kWのバッテリーブレーカーボックス	25	650	500	280
100～200 kWのバッテリーブレーカーボックス	35	800	500	280

環境

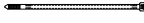
	動作時	保管時
温度	0 °C～40 °C	-25 °C～55 °C
相対湿度	0～95%、結露なきこと	0～95%、結露なきこと
保護クラス	IP20	
色	RAL 9003、光沢度85%	

付属設置キットの概要

20 ~ 80 kVA向け設置キット0H-9130

部品	用途	ユニット数
ワッシャ付きM10ナット	バッテリーブレーカーボックスの壁面取り付け, ページ 16	7 
ワッシャ付きM10 x 30 mmボルト		7 
ワッシャ付きM8ナット	電源ケーブルの接続, ページ 23	15 
ワッシャ付きM8 x 25 mmボルト		15 
信号ケーブル用ケーブルタイ	信号ケーブルの接続, ページ 20	2 
信号ケーブル用ケーブルタイ		5 
電源ケーブル用ケーブルタイ	電源ケーブルの接続, ページ 23.	30 

100 ~ 200 kVA向け設置キット0H-1491

部品	用途	ユニット数
ワッシャ付きM10ナット	バッテリーブレーカーボックスの壁面取り付け, ページ 16および 電源ケーブルの接続, ページ 23	15 
ワッシャ付きM10 x 30 mmボルト		15 
信号ケーブル用ケーブルタイ	信号ケーブルの接続, ページ 20	2 
信号ケーブル用ケーブルタイ		5 
電源ケーブル用ケーブルタイ	電源ケーブルの接続, ページ 23	30 

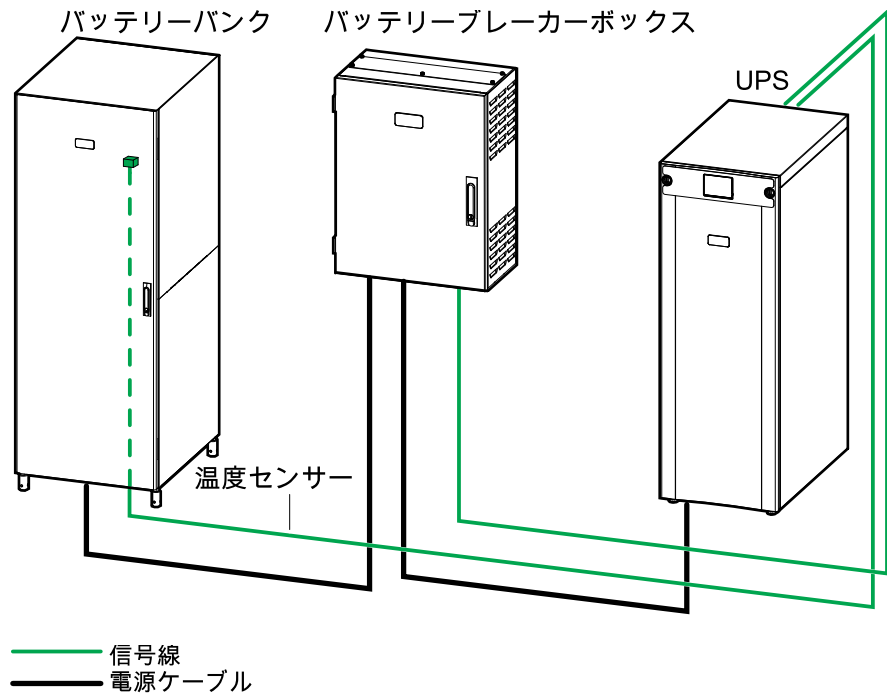
設置手順

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーブレーカーボックスを可能な限りバッテリーバンクの近くに配置して、保護されていないバッテリーケーブルの長さを制限します。バッテリーバンクとUPS間の距離は200 m以内でなければなりません。これ以上離れた距離に設置する場合は、Schneider Electricまでお問い合わせください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。



1. バッテリーブレーカーボックスの壁面取り付け, ページ 16
2. ケーブル用のバッテリーブレーカーボックスの準備, ページ 18
3. 信号ケーブルの接続, ページ 20
4. 電源ケーブルの接続, ページ 23
5. 翻訳済み安全ラベルの製品への追加, ページ 26
6. 最終的な設置手順, ページ 27

バッテリーブレイカーボックスの壁面取り付け

▲ 注意

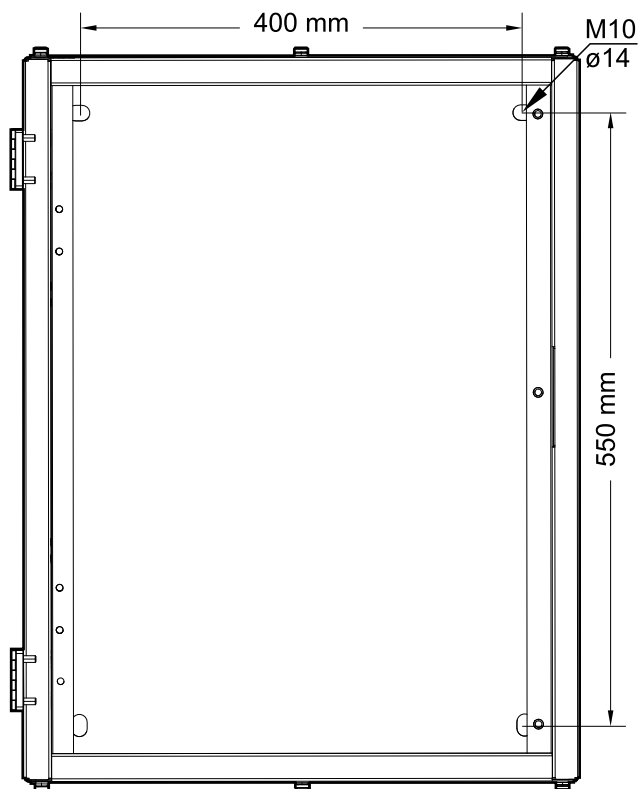
傷害または機器損傷の危険

- バッテリーブレイカーボックスは、構造的に安定しユニットの重量を支持できる壁面またはラックに取り付けてください。
- バッテリーブレイカーボックスを壁面に取り付ける場合は、適切なハードウェア（非付属品）を使用してください。

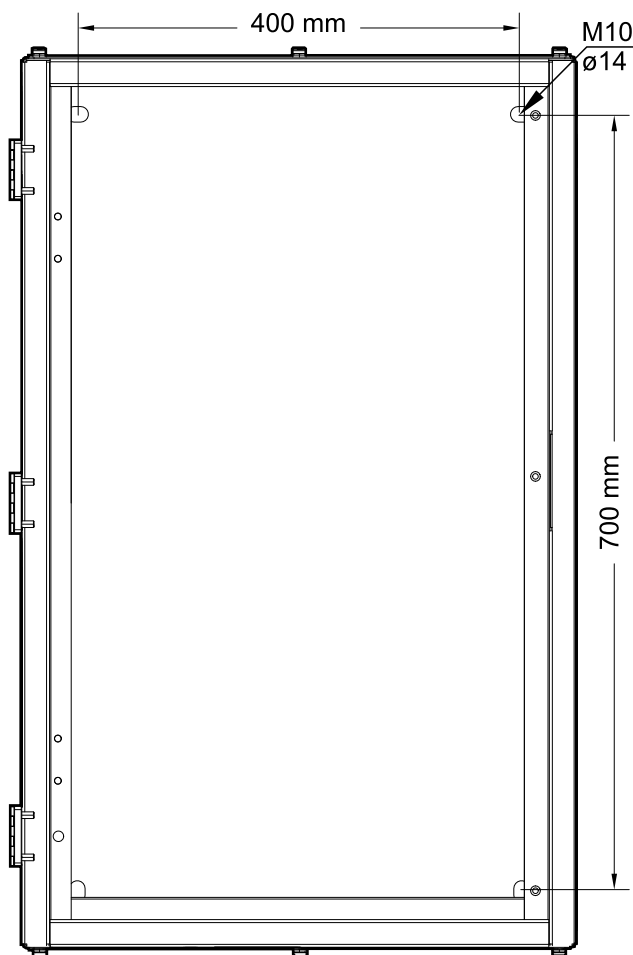
これらの指示に従わない場合は、負傷する、または機器を破損する可能性があります。

注: バッテリーブレイカーボックスをラックに取り付ける場合は、4個のM10 x 30トルクスとナット（付属品）を使用できます。

20 ~ 80 kWのバッテリーブレイカーボックス



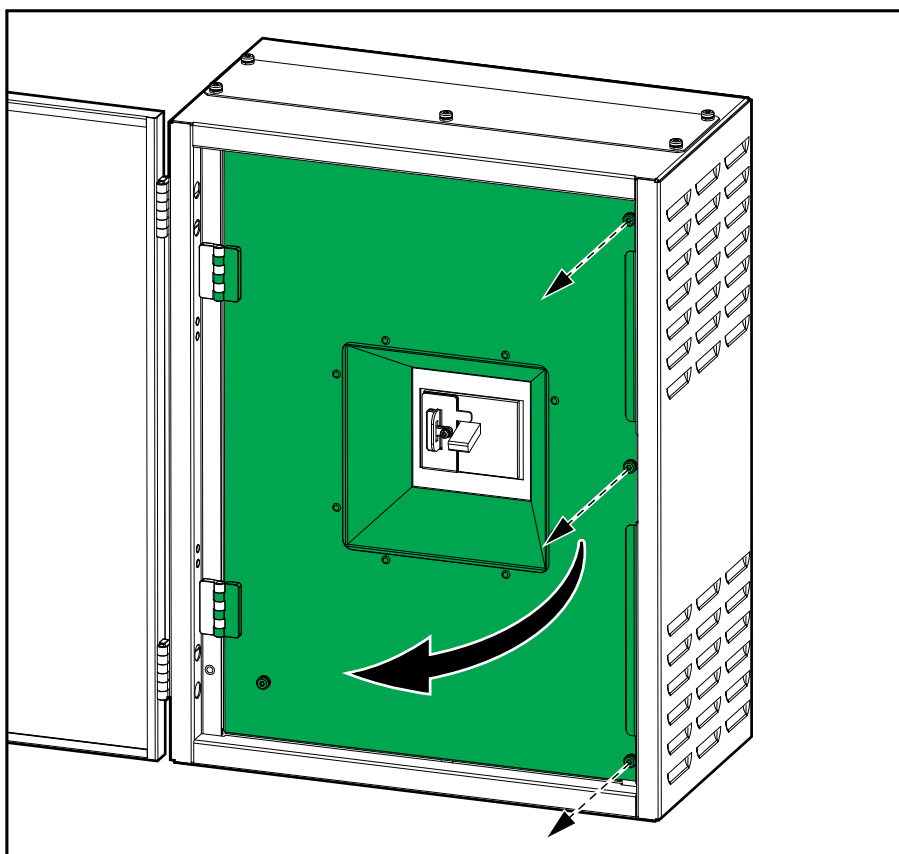
100 ~ 200 kWのバッテリーブレイカーボックス



1. 壁に開ける4個の取り付け穴の位置を計測して印を付けます。
2. 印を付けた4つの各位置に穴を開けます。

3. 3個のネジを緩めて、内側のドアを開けます。

バッテリーブレイカーボックスの前面図



4. 壁に開けた4つの穴に合わせてバッテリーブレイカーボックスを配置し、壁に取り付けます。

ケーブル用のバッテリーブレーカーボックスの準備

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

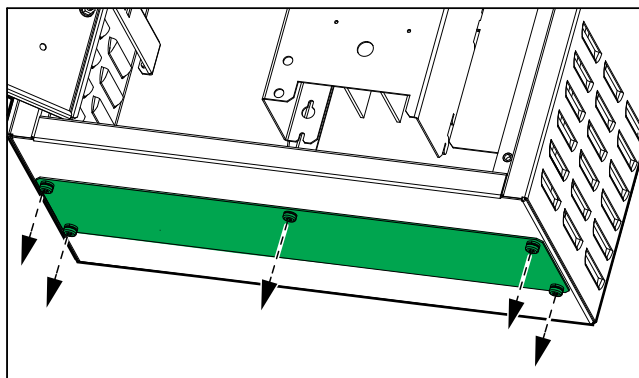
取り付けられている配線口カバーに、ケーブルやグロメット用の穴をドリルやパンチで開けないでください。また、UPS装置の近くでドリルやパンチを使用しないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

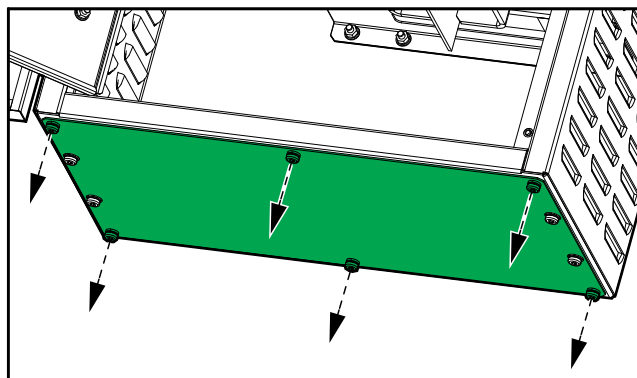
1.

- － 下部入線の場合：底部の配線口カバーのボルトを緩め、底部の配線口カバーを外します。
- － 上部入線の場合（**20～80 kW**のバッテリーブレーカーボックスでのみ使用できます）：上部の配線口カバーのボルトを緩め、上部の配線口カバーを外します。

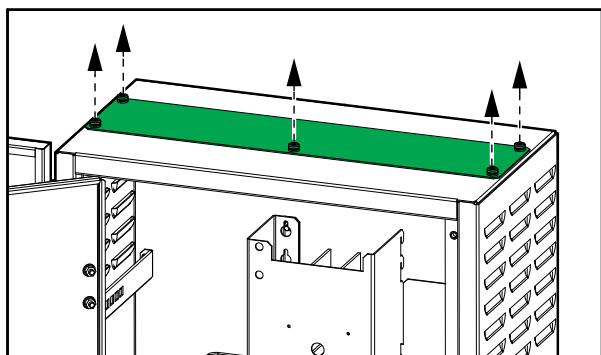
20～80 kWのバッテリーブレーカーボックスの前方から見た底面図



100～200 kWのバッテリーブレーカーボックスの前方から見た底面図



20～80 kWのバッテリーブレーカーボックスの前方から見た上面図



- ### 2. 配線口カバーにケーブルやグロメット用の穴をドリルまたはパンチで開けます。

3. グロメットを取り付けてから（該当する場合）、配線口カバーをもう一度取り付けます。

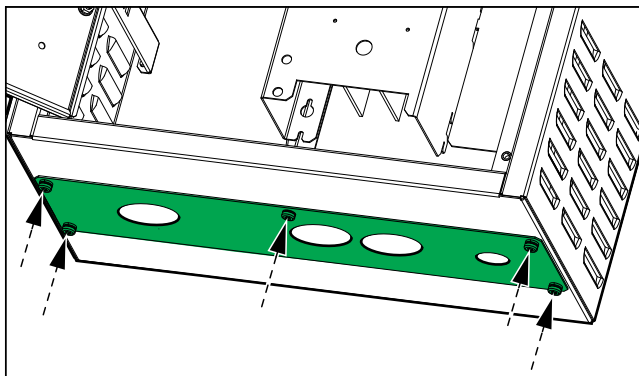
⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

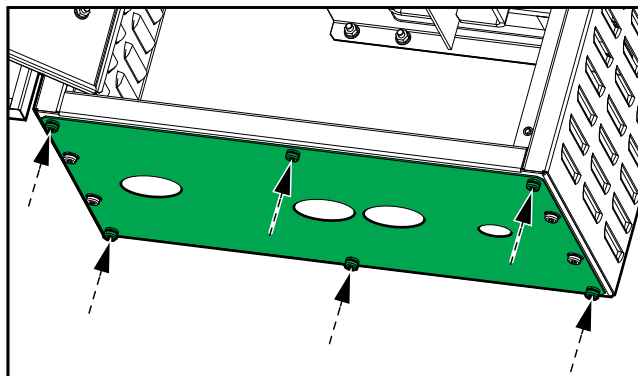
ケーブルを損傷させる可能性のある鋭利な物は、必ず取り除いてください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

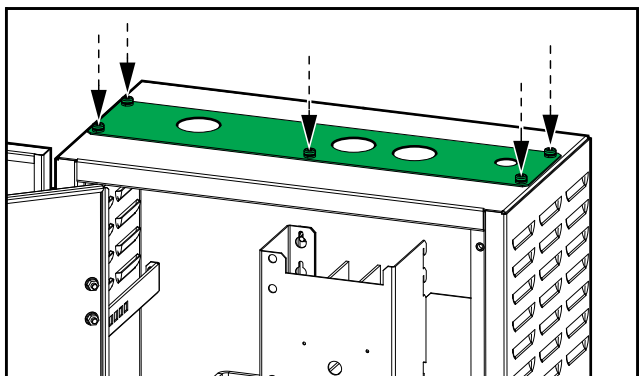
20 ~ 80 kWのバッテリーブレイカーボックスの前方から見た底面図



100 ~ 200 kWのバッテリーブレイカーボックスの前方から見た底面図



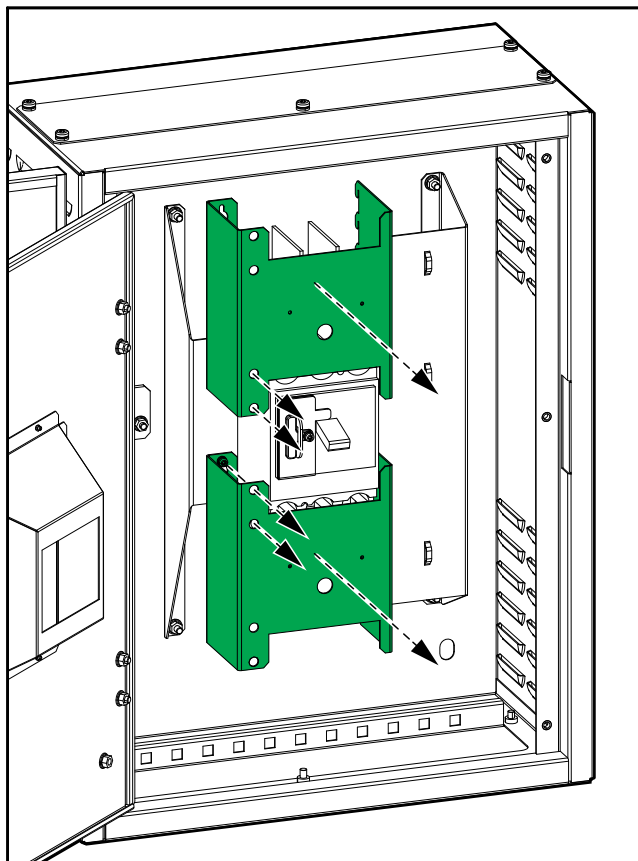
20 ~ 80 kWのバッテリーブレイカーボックスの前方から見た上面図



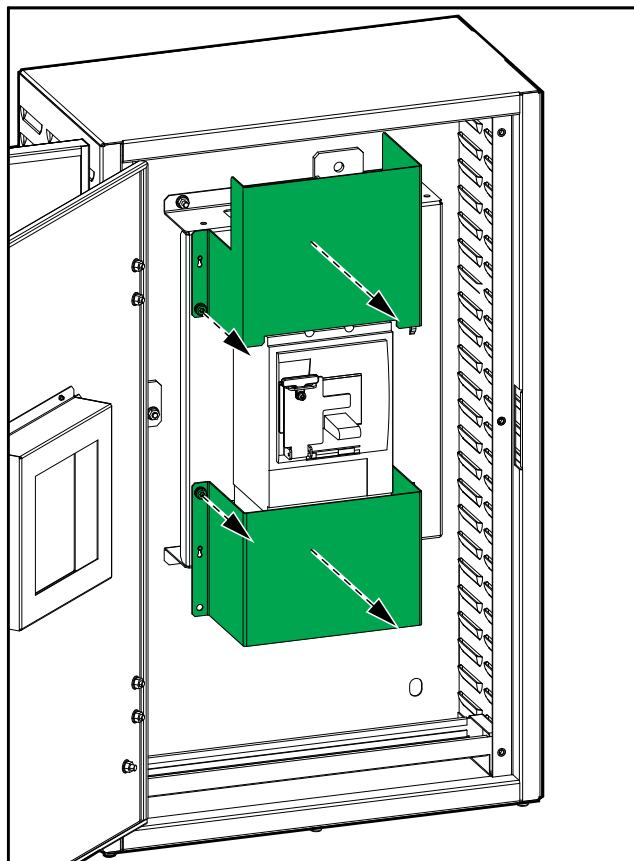
信号ケーブルの接続

1. 保護カバーのネジを緩め、保護カバーを上を持ち上げて、バッテリーブレーカーボックスから取り外します。

20 ~ 80 kWのバッテリーブレーカーボックスの前面図



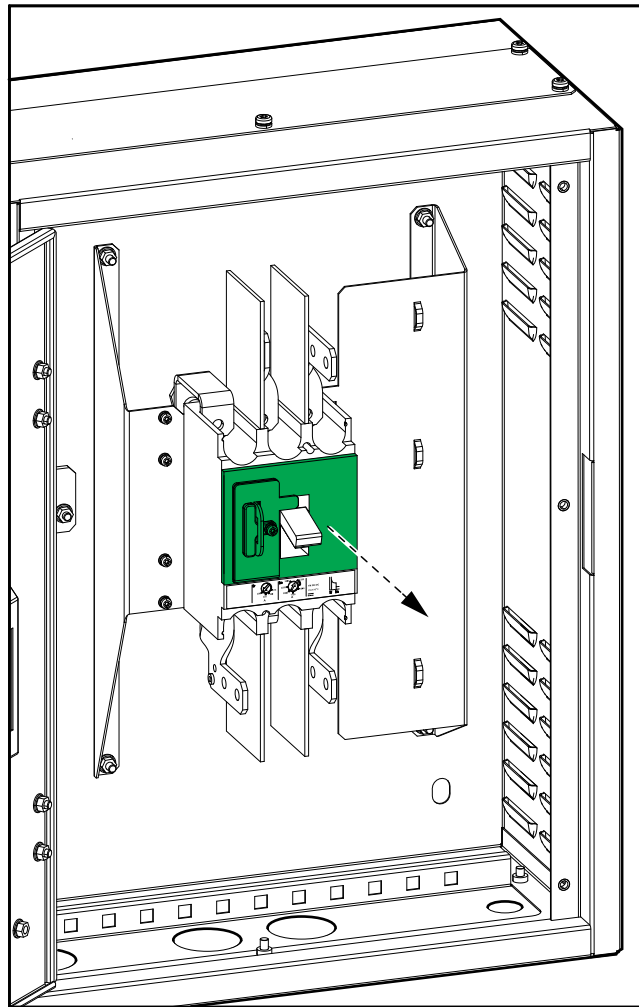
100 ~ 200 kWのバッテリーブレーカーボックスの前面図



2. 信号ケーブルをバッテリーブレーカーボックスの底部を通して配線します。20 ~ 80 kWのバッテリーブレーカーの場合、信号ケーブルをバッテリーブレーカーボックスの上部を通して配線することもできます。

3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。

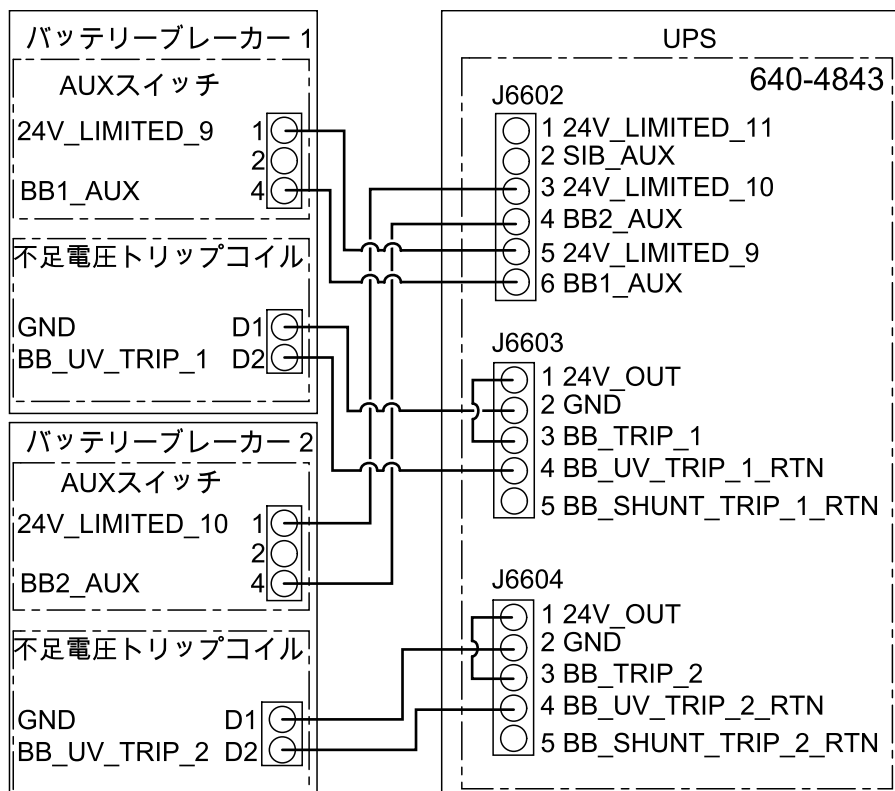
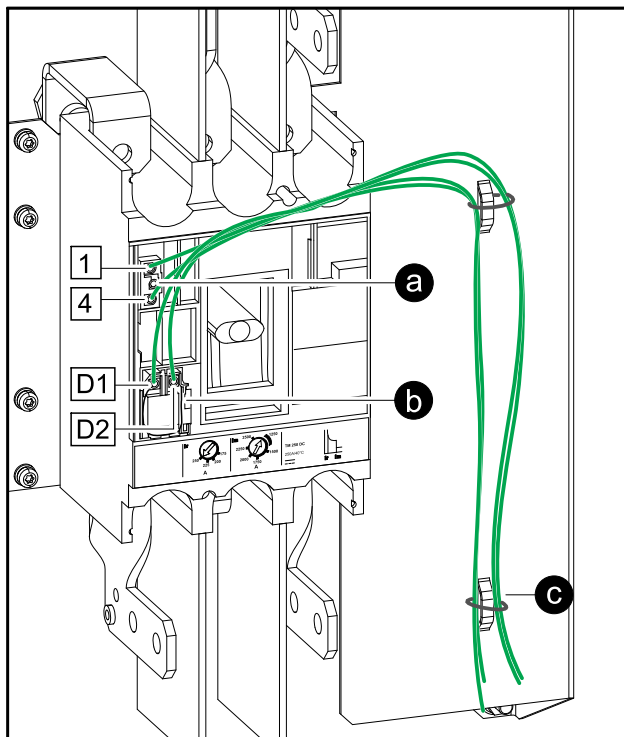
バッテリーブレーカーボックスの前面図



4. 信号ケーブルを接続します。

- a. 信号ケーブルをAUXスイッチに接続します。
- b. 信号ケーブルを不足電圧トリップコイルに接続します。
- c. 信号ケーブルをケーブルタイ (付属品) でケーブルリリーフに留めます。

バッテリーブレーカーボックスの前面図



5. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。

6. 信号ケーブルは、電源ケーブルとは個別に配線してください。

電源ケーブルの接続

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーケーブルをバッテリーブレーカーボックスに接続する前に、UPSシステムの電源を完全にオフにしてください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

TTおよびTNシステムでは、システムに配電している配電盤の保護接地端子に、単独のキャビネットを個々に接続する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 警告

アークフラッシュの危険

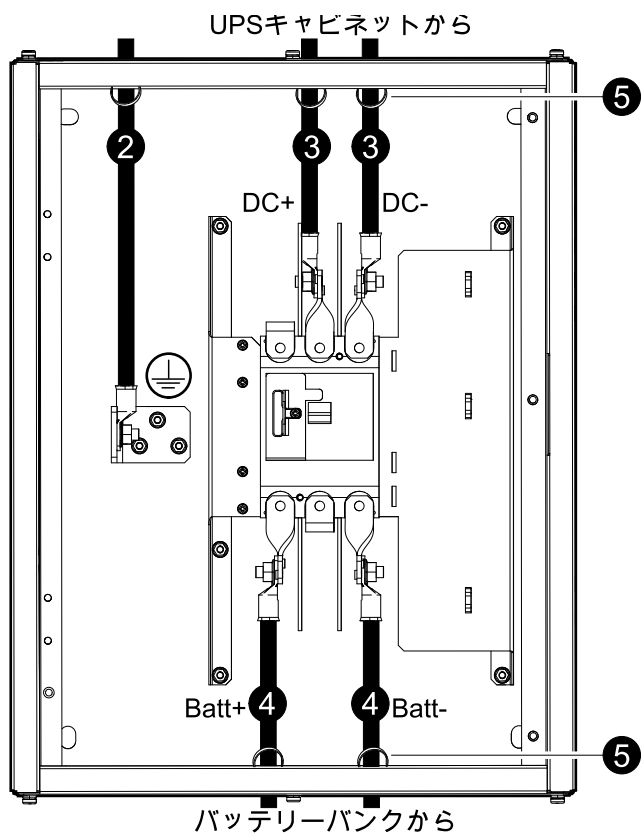
電源ケーブルの接続には、付属のM10ボルトとナットを使用してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負う、または機器を破損する可能性があります。

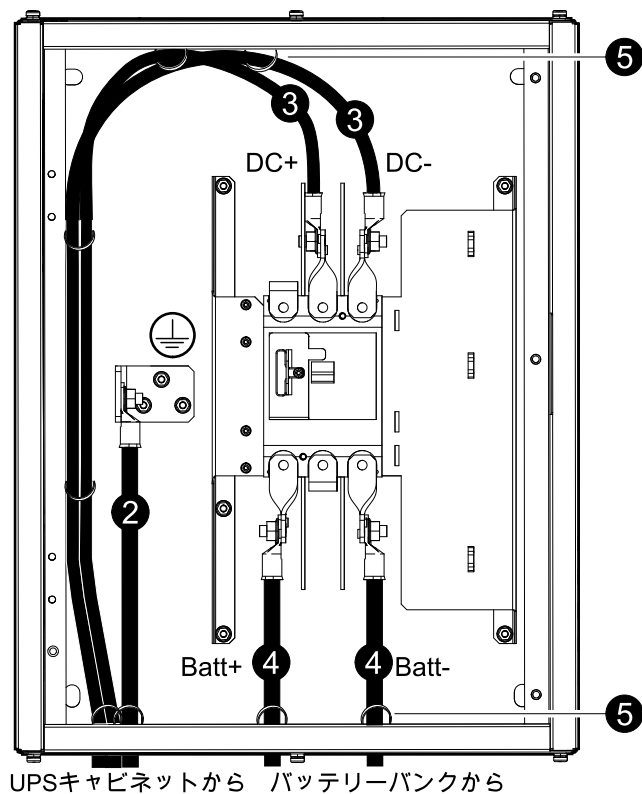
1. バッテリーブレーカーをロックアウト（施錠）およびタグアウト（警告札掛け）します。

2. PEケーブルをUPSキャビネットからバッテリーブレーカーボックスの上部または底部を通して配線し、接続します。

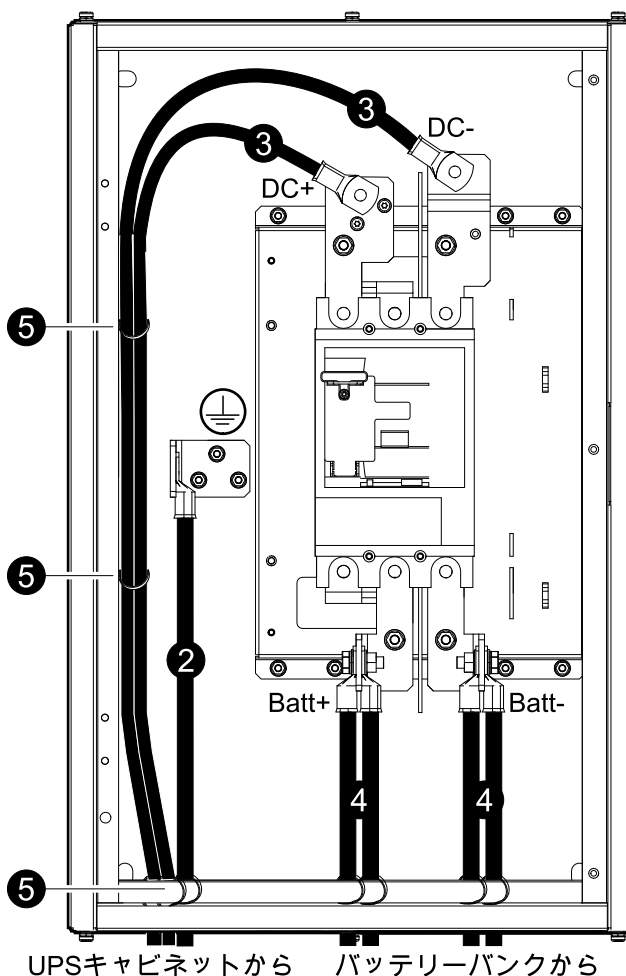
UPSキャビネットから20 ~ 80 kWのバッテリーブレーカーボックスの上部を通して配線されたケーブル



UPSキャビネットから20 ~ 80 kWのバッテリーブレーカーボックスの底部を通して配線されたケーブル



UPSキャビネットから100 ~ 200 kWのバッテリーブレイカーボックスの底部を通して配線されたケーブル



3. DCケーブルをUPSキャビネットからバッテリーブレイカーボックスの上部または底部を通して配線し、接続します。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーブレイカーボックスの上部に内部カバーを再度取り付けてから、設置を続行してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

4. バッテリーケーブルをバッテリーバンクからバッテリーブレイカーボックスの底部を通して配線し、接続します。

⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- バッテリーブレイカーボックスの底部に内部カバーを再度取り付けてから、設置を続行してください。

- 極性が正しいことを確認してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

5. バッテリーブレイカーボックスの左側、上部、底部にあるケーブルリリーフにケーブルを取り付けます。

翻訳済み安全ラベルの製品への追加

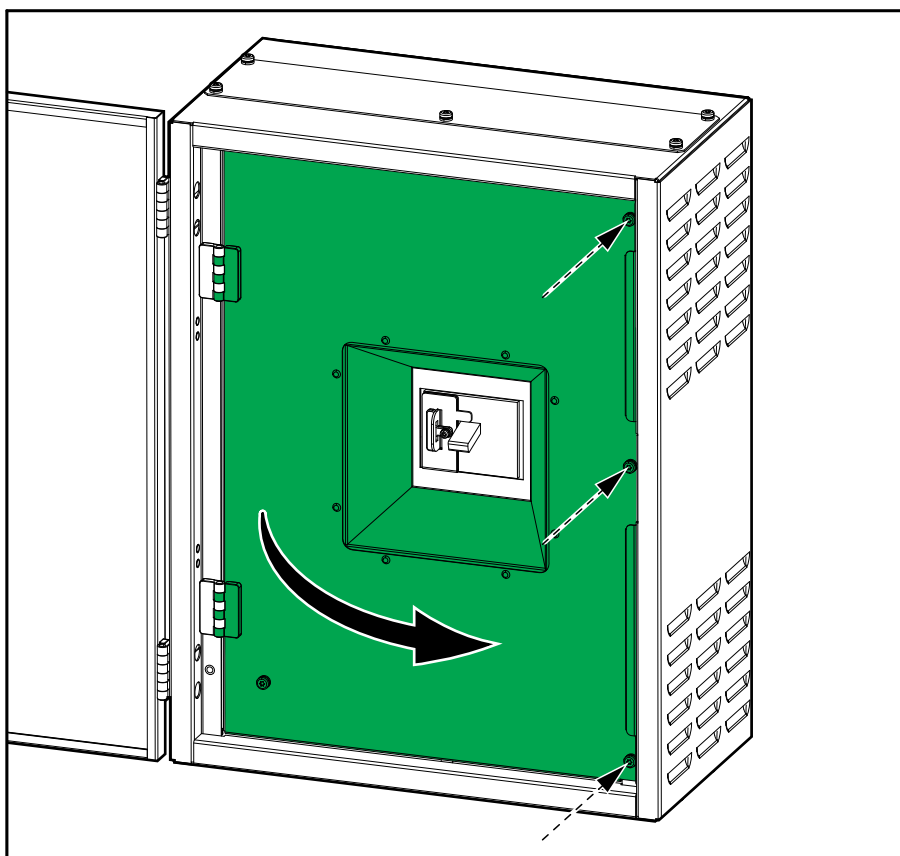
製品の安全ラベルは、英語とフランス語で記載されています。製品には差し替え用の翻訳済み安全ラベルが同梱されています。

1. 製品の安全ラベルごとに**885-XXXX**という部品番号を確認します。
2. 製品に同梱されている差し替え用の安全ラベルで、**885-XXXX**の部品番号が一致するものを見つけます。
3. 目的の言語で記載されている差し替え用の安全ラベルを、フランス語で記載されている既存の安全ラベル上に追加します。

最終的な設置手順

1. デッドフロントパネルを開いて、3本のネジで固定します。

バッテリーブレイカーボックスの前面図



2. バッテリーブレイカーボックスのフロントドアを閉じます。

Schneider Electric
35 rue Joseph Monier
92500 Rueil Malmaison
France

+ 33 (0) 1 41 29 70 00



* 9 9 0 - 5 9 1 4 A - 0 1 8 *

規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください

© 2018 – 2018 Schneider Electric. All rights reserved.

990–5914A–018